

高齢者にやさしい社会を

石原さん 以前、敬老バス

を紛失してしまいました。地下鉄の駅で見つかり後日取りに行きましたが、受け取り場所が非常に遠くて分かりにくかった。また、区役所などでの手続きは、書類が多かったり複数の窓口での手続きが必要だったりします。高齢者などへの負担を改善してほしいです。



石原さん

市長 地下鉄駅の表示などは、交通局とも相談して、徐々に改善しているところですが、手続きの際の煩雑さですが、全ての方が同じサービスを受ければいいのですが、年齢や所得などで区分けをせざるを得ない。そうすると多くの書類を書いたり、窓口に行ったりしていただかなければならないのです。

区長 書類などは分かりやすくするように心掛けていま

みんなで あした 未来

～ふらっ
市民と市長が
くりと話し合
います。今回
は6人の区民
合いました。
今月は平成24
た「ふらっと



ですが、一方で間違いがあつてはいけません。制度自体が複雑なこともあつてバランスが難しいのです。しかし、高齢者に優しいまちになるよう、ハード整備も含めて努力していきます。



吉澤区長

障がい者でも

自立できる社会に

深宮さん 障がいを持った子どもがいます。将来、自立した生活をさせたいと思つて

いますが、障がい者が得られる収入は限られているのが現状です。障がいを持っているのも自立して生活できる社会になつてほしいと思います。

市長 障がい者の皆さんは「公的支援で得た1万円と、自分で働いて得た1万円では

は、価値が全然違う」とおっしゃいます。札幌市では、仕事を紹介するマッチング事業や障がい者を雇った民間企業への助成を行っています。また「元気ショップ」や「元気カフェ」のように、障がい者の方が製作した製品を販売したり、働いたりできる場を整備しています。こういったものを多くの市民の方に知ってもらい積極的に利用していただいで、雇用や支援の環が広がっていけば良いと思つています。



深宮さん

高齢者への就業支援を

中永さん 高齢者が仕事を

探すと、募集はしていても実際にはなかなか仕事に就けません。高齢者でも自立できるように、行政でバックアップして欲しいです。

市長 求職しても仕事に就けないと、せつかくの能力や

経験が埋もれてしまつたり、生活保護に頼らざる得なくなるなど、社会にとつても大きな損失です。札幌市では、全国に先駆けて民間事業者とハローワークの三者で、中高年に絞ったマッチング事業を行っています。国などの状況を見つつ、稼働意欲のある人たちが仕事に就ける施策をこれから行つていきます。



中永さん

ふらっとホームを終えて

最初は緊張気味でしたが、徐々に笑顔も見られた参加者の皆さん。「これからの活動の参考になりました」「勇気づけられました」などの感想が聞かれました。最後に、上田市市長が「素晴らしいお話を聞くことができ、とてもうれしい。皆さんの意見が、私の発想の源です」と笑顔で締めくくりました。